

3. 大野町の概況

3.1. 自然条件

(1) 位置

本町は、岐阜県の南西部、濃尾平野のほぼ西北端に位置し(東経 136°37'、北緯 35°28')、東西 5.8km、南北11.7km、総面積34.20km²、海拔22.1mとなっています。揖斐郡に属し北は揖斐川町に、東は本巣市と瑞穂市、西は神戸町と池田町に接しています。

広域的な立地条件からみると、岐阜県の中核的な都市である大垣市(人口約16万人)を10km圏に有し、県都である岐阜市(人口約41万人)も15km圏にあります。また、名古屋市(人口約233万人)は約40kmの距離にあり、東海環状自動車道大野神戸インターチェンジの開通により、各市町間の所要時間が大幅に短縮し、地域の活性化や連携強化、企業進出の促進等が期待されています。

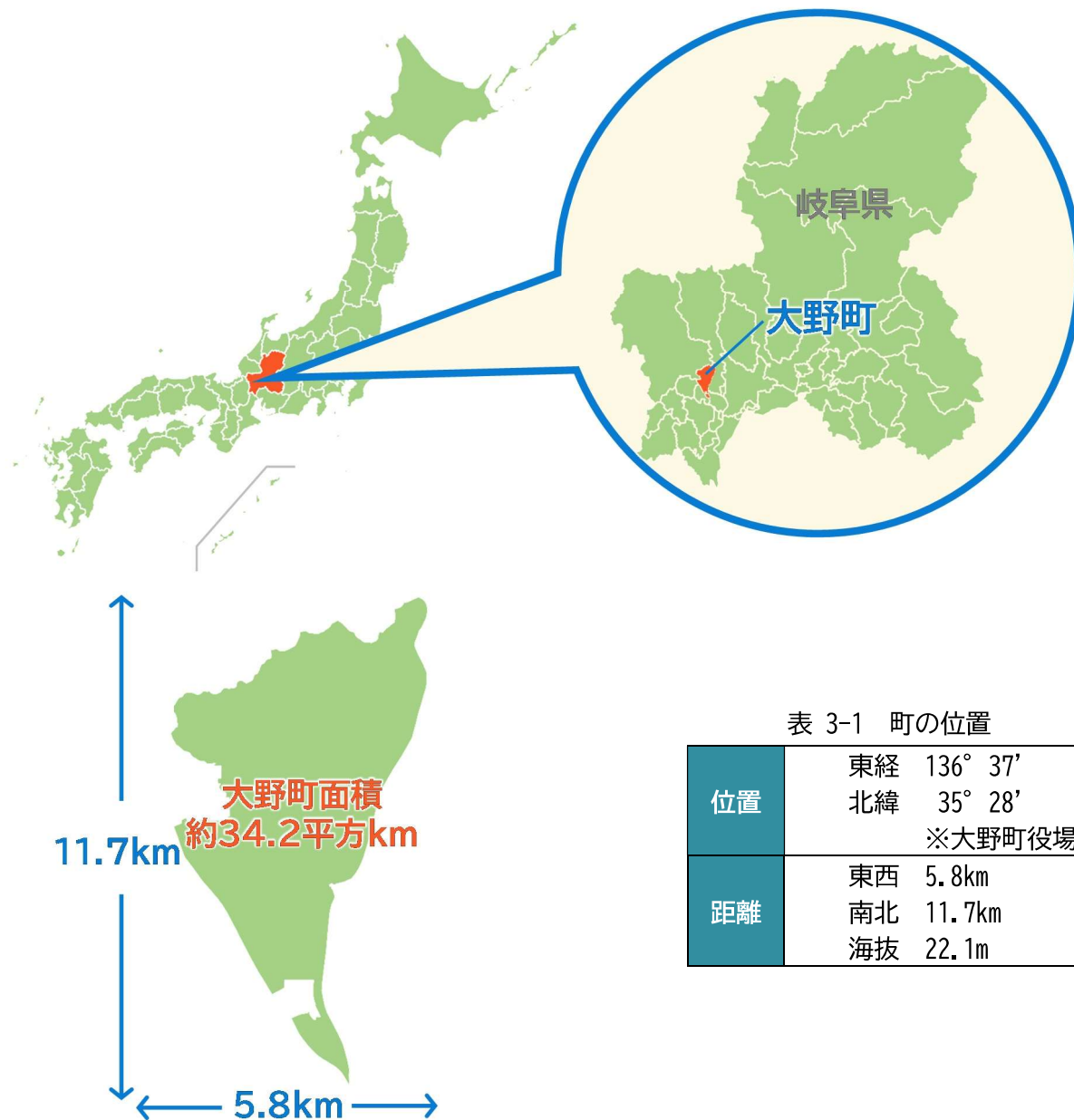
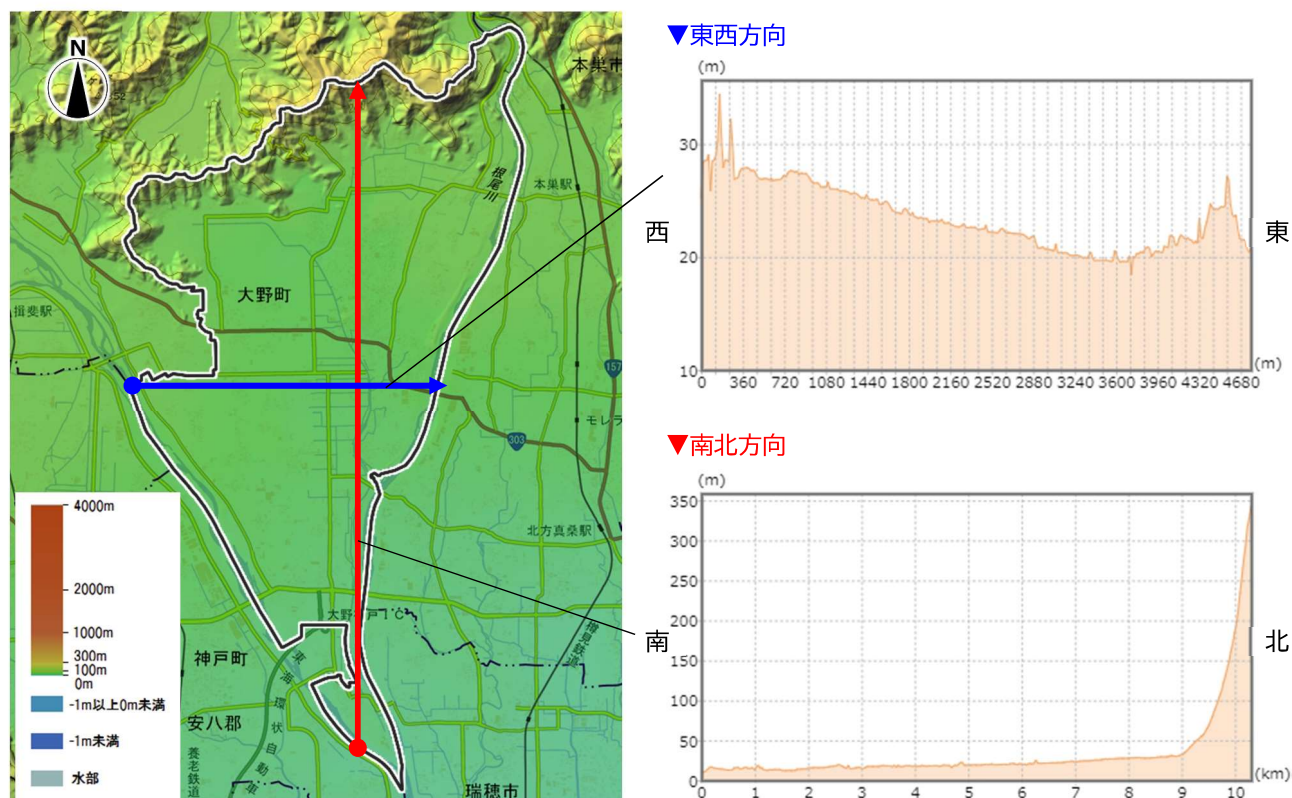


図 3-1 位置図

(2) 地形・地質

1) 地形

本町の地形は、北部に大谷山(356m)、滝谷山(398m)、雁又山(430m)等が連なっていますが、西に揖斐川、東に根尾川が流れ、町域の大半は2つの河川の合流地域に開けた平坦地で、水と緑に囲まれた自然豊かな町です。



(出典：国土地理院「地理院地図」)

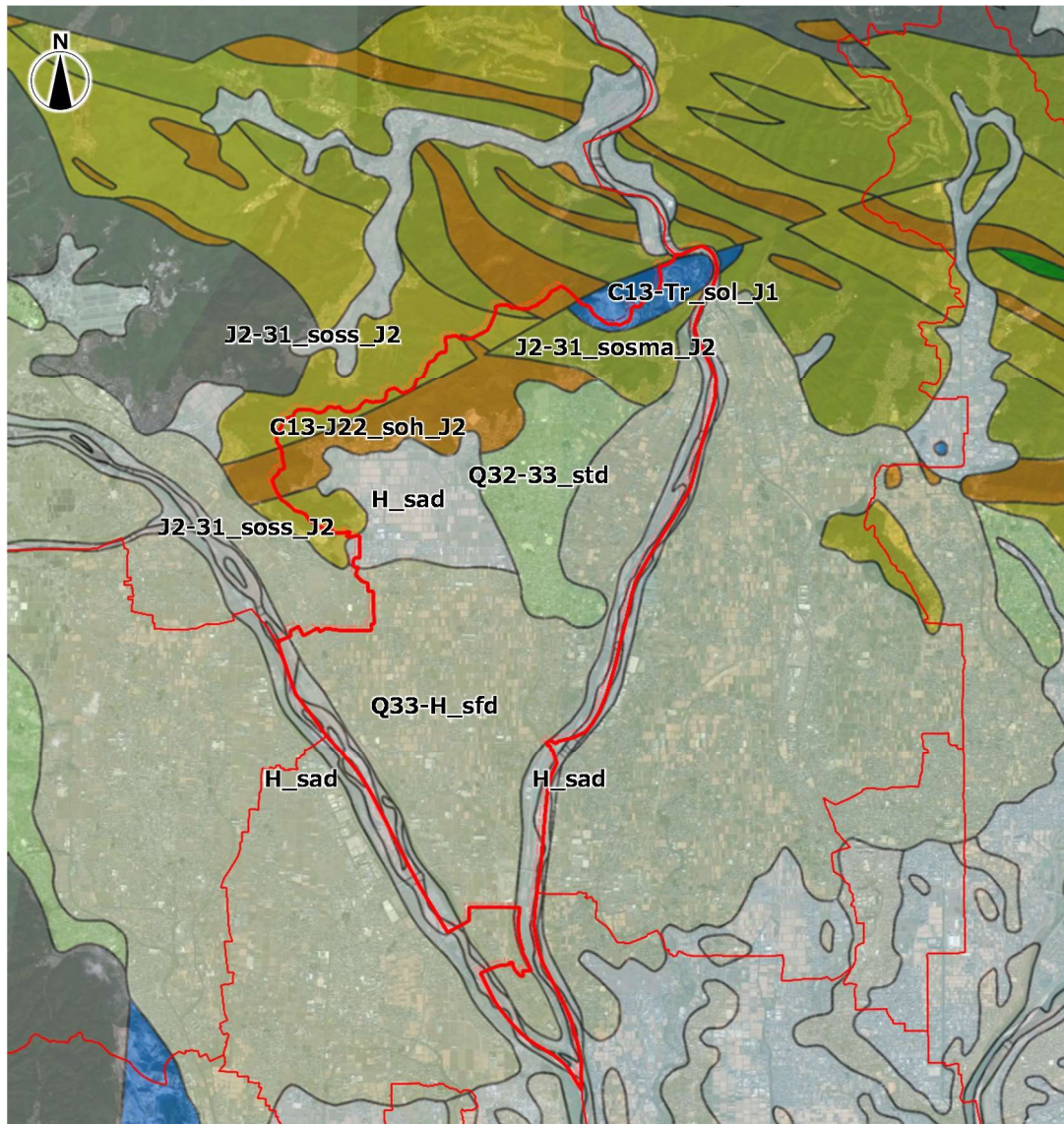
図 3-2 簡易断面図

3. 大野町の概況

2) 地質

本町の最北部には、金華山を構成している岩盤と同じチャート※が分布しています。また、市街地は、山地を流れる河川が運搬した砂礫が堆積して形成された扇状地に位置しています。

※チャート:主成分が二酸化ケイ素でできている堆積岩



凡例記号	形成時代	大区分	岩相
C13-Tr_sol_J1	古生代 石炭紀 後期ミシシッピアン垂紀～中生代 三畳紀	付加体	海成層 石灰岩 前期-中期ジュラ紀付加体
C13-J22_soh_J2	古生代 石炭紀 後期ミシシッピアン垂紀～中生代 中期ジュラ紀 バッジョシアン期	付加体	チャート 中期-後期ジュラ紀付加体
J2-31_sosma_J2	中生代 中期ジュラ紀～後期ジュラ紀 オックスフォーディアン期	付加体	海成層 砂岩泥岩互層 中期-後期ジュラ紀付加体
J2-31_soss_J2	中生代 中期ジュラ紀～後期ジュラ紀 オックスフォーディアン期	付加体	海成層 砂岩 中期-後期ジュラ紀付加体
Q32-33_std	新生代 第四紀 後期更新世中期～後期更新世後期	堆積岩	段丘堆積物
Q33-H_sfd	新生代 第四紀 後期更新世後期～完新世	堆積岩	扇状地・崖錐堆積物
H_sad	新生代 第四紀 完新世	堆積岩	谷底平野・山間盆地・河川・海岸平野堆積物

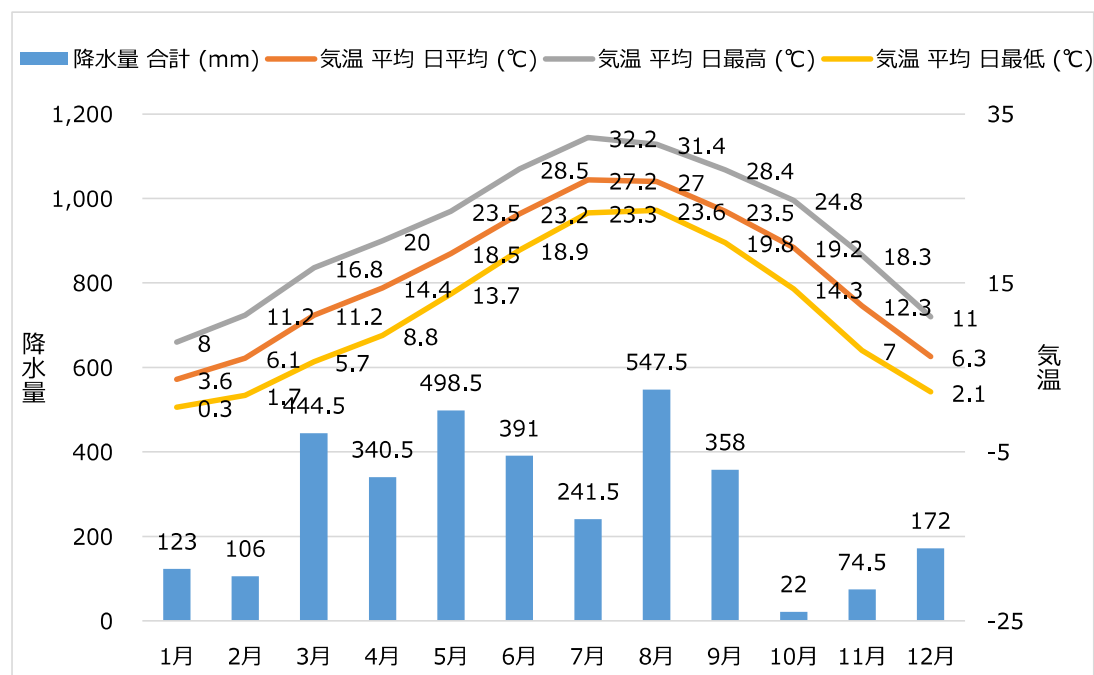
(出典：(独)産業技術総合研究所「20万分の1日本シームレス地質図V2」)

図 3-3 地質図

(3) 気象

本町の気候は表日本式気候※で、1年を通じて温暖な日が多く、雨量もまた多くなっています。
2021年(令和3年)の気象の概要は、下図のとおりです。

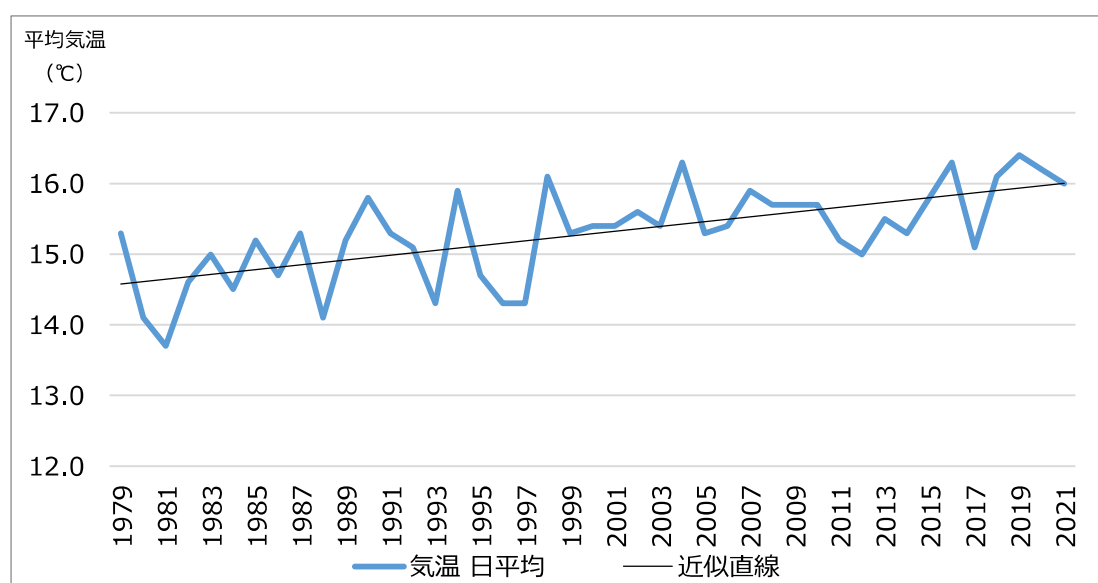
※表日本式気候:夏には太平洋の高温多湿な空気が吹き込むため雨が多く、冬には北西の季節風が高い山々を越えて吹き降ろすため空気は乾燥し、雨が少ない。夏から秋にかけては、台風におそわれることが多い。



(出典：気象庁「気象統計情報（揖斐川）」)

図 3-4 平均気温の月別推移

また、過去40年程度の平均気温の年別推移をみると、年々上昇傾向を示しており、地球温暖化の影響を受けていることがわかります。



(出典：気象庁「気象統計情報（揖斐川）」)

図 3-5 平均気温の年別推移

3.2. 社会条件

(1) 人口動態

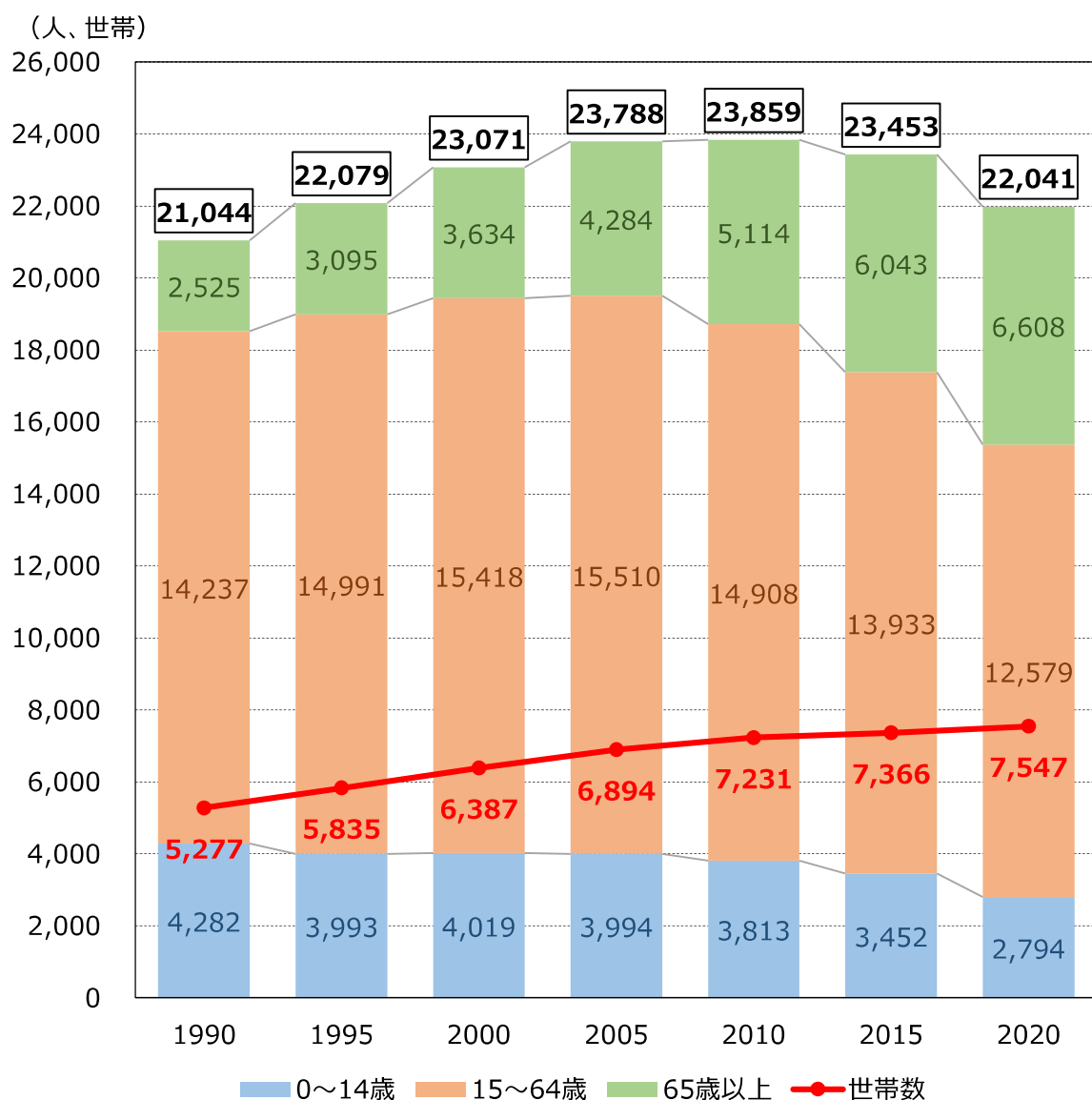
1) 人口・世帯数の推移

2020年(令和2年)国勢調査によると、本町の人口は、2020年(令和2年)10月1日時点で22,041人となっています。

1990年(平成2年)から2020年(令和2年)までの30年間の人口推移をみると、2010年(平成22年)までは増加傾向にありましたが、その後は減少に転じ、2020年(令和2年)の人口は、2010年(平成22年)のピーク時に比べて約7.6%減少しています。

また、年齢3階級別人口をみると、15歳未満の年少人口の減少傾向が続く一方で、65歳以上の高齢人口が増加し続けています。

同期間の世帯数の推移をみると、平均世帯人員の減少に伴い、増加の一途をたどっています。



(出典：総務省「1990年(平成2年)～2020年(令和2年)国勢調査」)

図 3-6 人口・世帯数の推移

2) 人口分布

本町の人口分布状況を地区別にみると、黒野(3,307 人)に最も多く分布し、次いで大野(2,246 人)、公郷(1,669 人)となっており、人口密度は、大野(2,919 人/km²)、稲畑(2,381 人/km²)、桜大門(2,119 人/km²)の順に高くなっている。

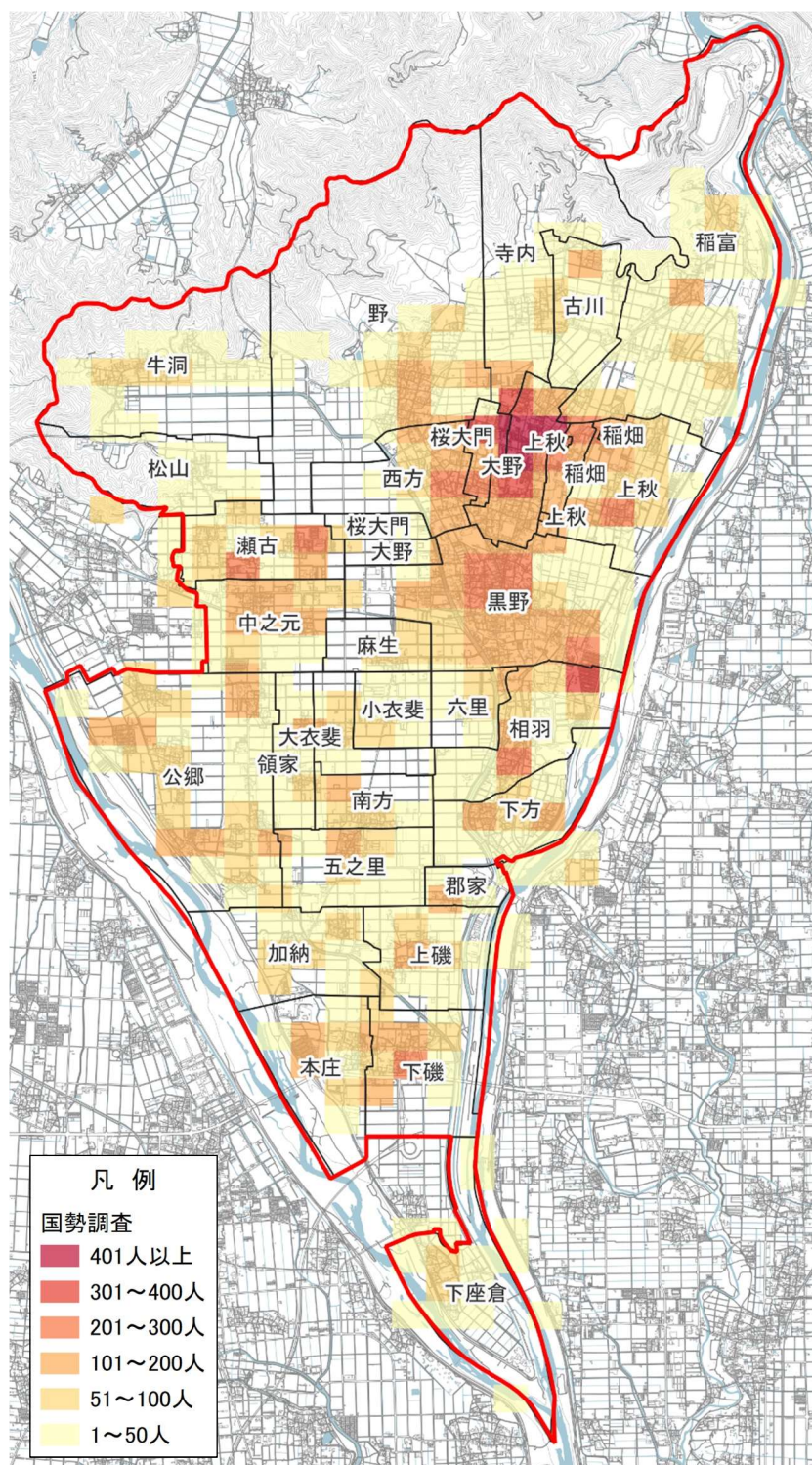


表 3-2 人口分布

地区	人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
黒野	3,307	2.11	1,570
六里	234	0.38	608
相羽	1,145	0.96	1,188
下方	465	0.84	555
麻生	155	0.39	401
野	834	4.19	199
西方	967	0.84	1,152
桜大門	860	0.41	2,119
大野	2,246	0.77	2,919
稲富	989	3.49	283
古川	384	0.64	596
寺内	466	1.98	235
上秋	1,214	1.16	1,045
稲畑	519	0.22	2,381
牛洞	404	2.13	189
松山	178	0.97	184
瀬古	1,056	0.77	1,373
中之元	1,044	0.84	1,239
公郷	1,669	2.90	576
領家	232	0.44	533
大い斐	168	0.43	390
小い斐	288	0.41	706
加納	399	1.05	381
五之里	422	0.81	518
南方	282	0.45	632
郡家	110	0.22	491
上磯	475	0.85	560
下磯	628	0.98	642
本庄	651	1.04	628
下座倉	250	1.24	201

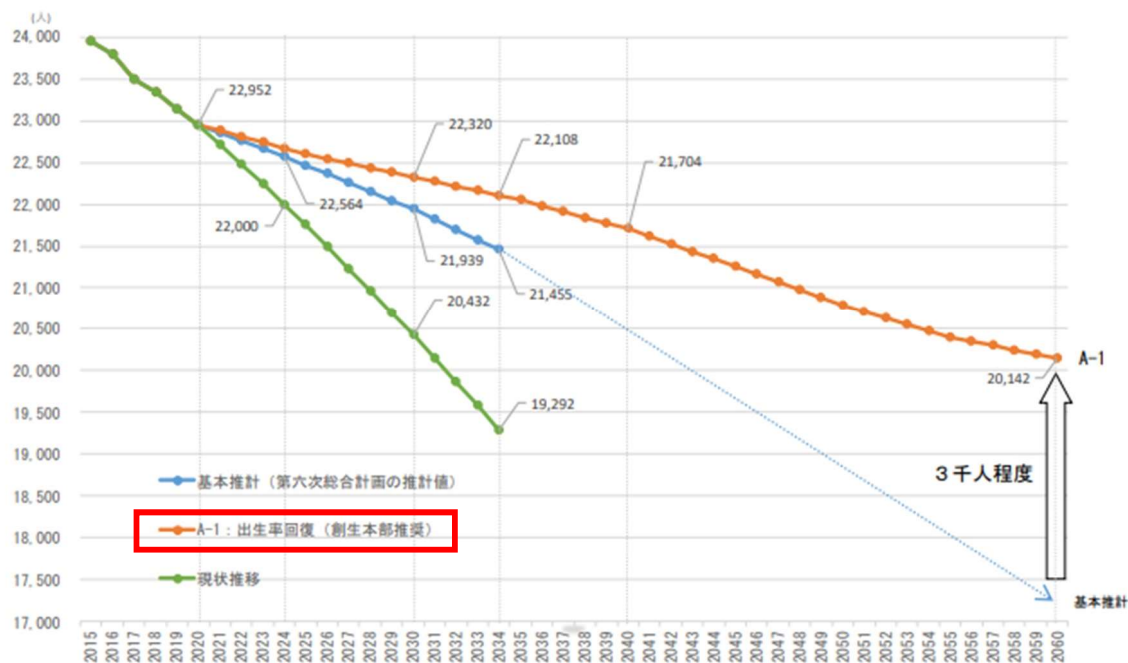
(出典：総務省「2020年(令和2年)国勢調査」)

図 3-7 人口分布

3) 将来人口推計

2020年(令和2年)8月に改訂した「大野町人口ビジョン」では、町が目指す中・長期的な目標人口として、2060年(令和42年)の人口を20,142人と設定しています。

図 将来人口

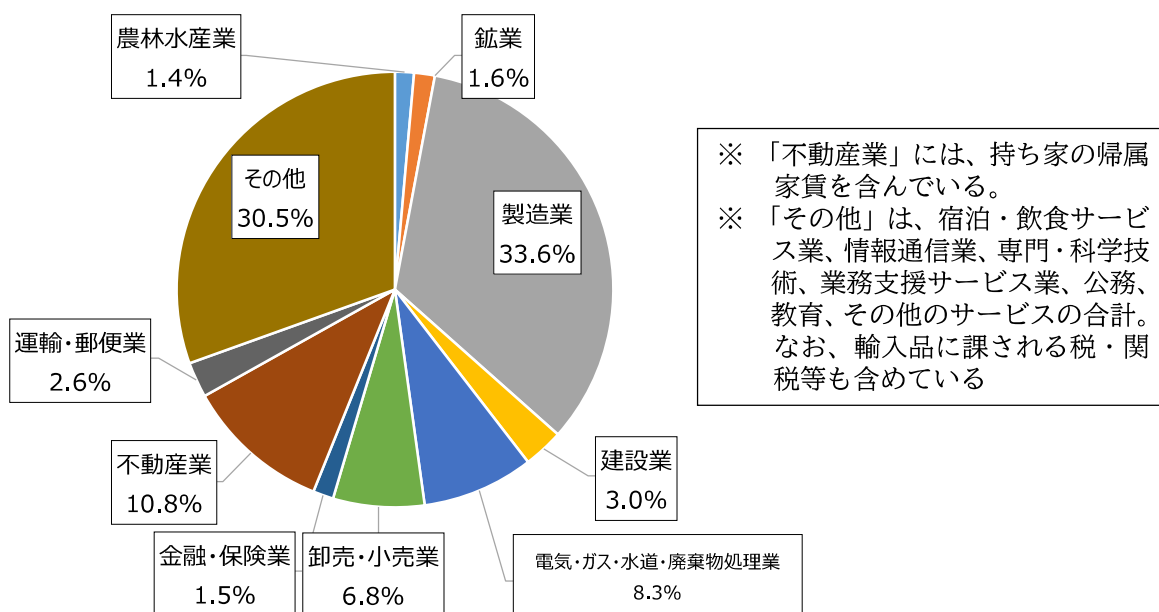


(出典：大野町人口ビジョン (2020年(令和2年)8月改訂))

図 3-8 将来人口推計

(2) 産業構造

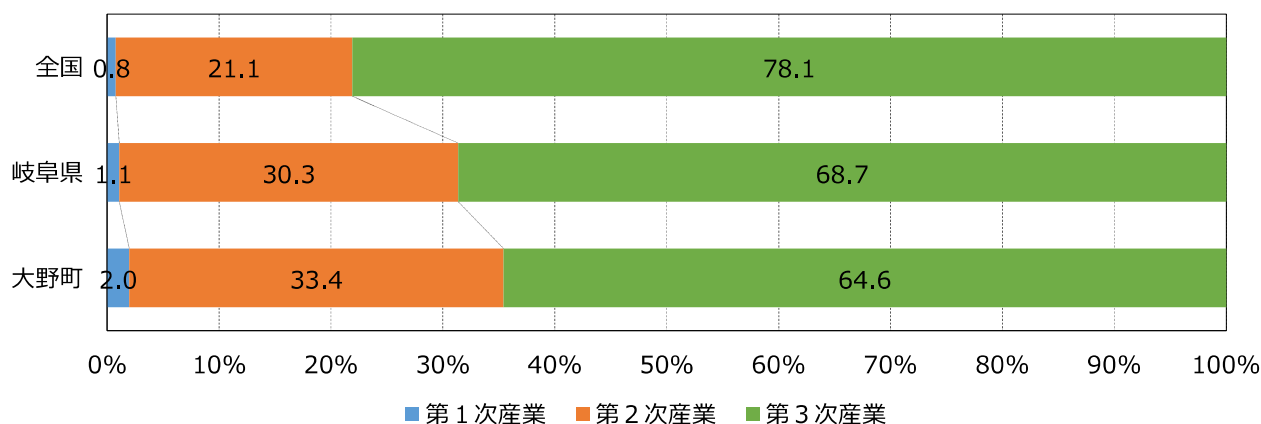
2019年(令和元年)における本町の市町村内総生産額の構成比をみると、製造業や不動産業の割合が他の業種と比較して高くなっています。



(出典：岐阜県「令和元年度岐阜県の市町村民経済計算」)

図 3-9 総生産額の構成比

2021年(令和3年)における本町の産業別従業者数をみると、全国や岐阜県と比べて、製造業を含む第2次産業の全体に占める割合が高いことがわかります。



第1次産業…「農業、林業」及び「漁業」
 第2次産業…「鉱業、採石業、砂利採取業」、「建設業」及び「製造業」
 第3次産業…「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」、「金融業、保険業」、「不動産業、物品賃貸業」、学術研究、専門・技術サービス業、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療、福祉」、「複合サービス事業」、「サービス業（他に分類されないもの）」及び「公務（他に分類されるものを除く）」

(出典：総務省「2021年経済センサス 活動調査」)

図 3-10 産業別従業員数の構成比 (2021年(令和3年)時点)

表 3-3 産業別事業所数・従業者数 (2021年(令和3年)時点)

業種	事業所数	従業者数		産業別従業者数の構成比による特化係数※	
		(人)	構成比	全国=1.00	県=1.00
総数	816	7,272	100.0	1.00	1.00
農林漁業	10	103	2.0	2.56	1.81
鉱業	3	21	0.3	8.33	4.59
建設業	120	614	7.4	1.18	1.13
製造業	116	2,063	25.7	1.74	1.09
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0.1	0.12	0.15
情報通信業	3	11	0.1	0.03	0.13
運輸業、郵便業	14	171	2.8	0.51	0.66
卸売業、小売業	184	1,218	15.8	0.82	0.88
金融業、保険業	10	68	1.2	0.49	0.56
不動産業、物品賃貸業	15	59	1.9	0.71	1.12
学術研究、専門・技術サービス業	22	93	1.5	0.43	0.64
宿泊業、飲食サービス業	68	411	4.4	0.59	0.57
生活関連サービス業、娯楽業	74	251	3.9	1.04	1.00
教育、学習支援業	46	206	7.9	1.43	1.48
医療、福祉	62	1,054	16.3	1.10	1.15
複合サービス事業	5	49	0.2	0.31	0.25
サービス業（他に分類されないもの）	64	880	8.4	0.97	1.20

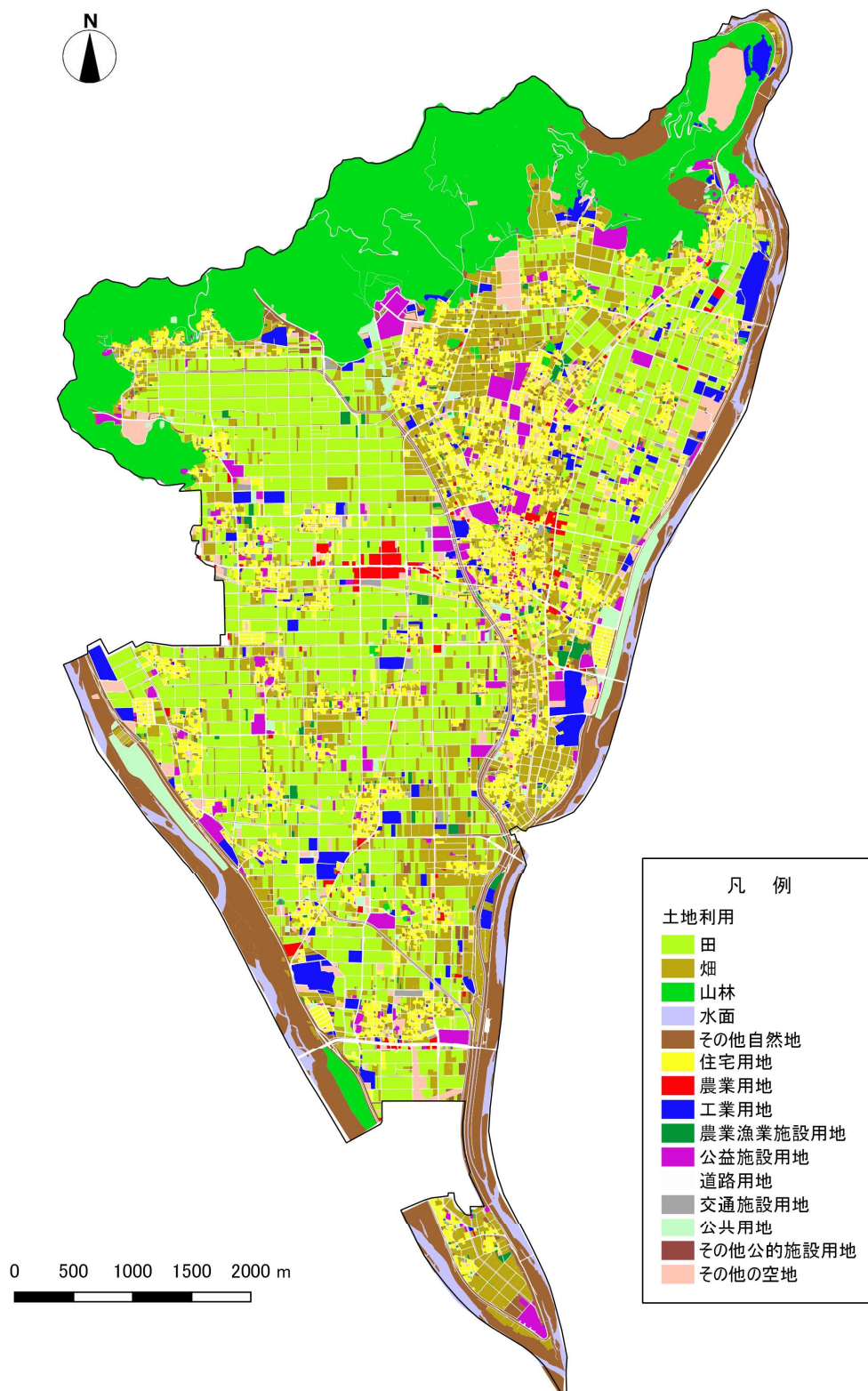
※ 特化係数は、地域特性を数量的に示す指標で、全国平均の産業別構成比を基準（＝1）として、次式により計算しています。特化係数＝当該市町村の産業別構成比／全国（県）平均の産業別構成比

(出典：総務省「2021年経済センサス 活動調査」)

図 3-11 産業別事業所数・従業者数

(3) 土地利用

2019年度(令和元年度)における本町の土地利用現況の状況を見ると、農地や山林等の自然的土地利用が約70%を占めています。宅地では、住宅用地が9.8%、次いで工業用地3.1%、商業用地0.9%となっています。



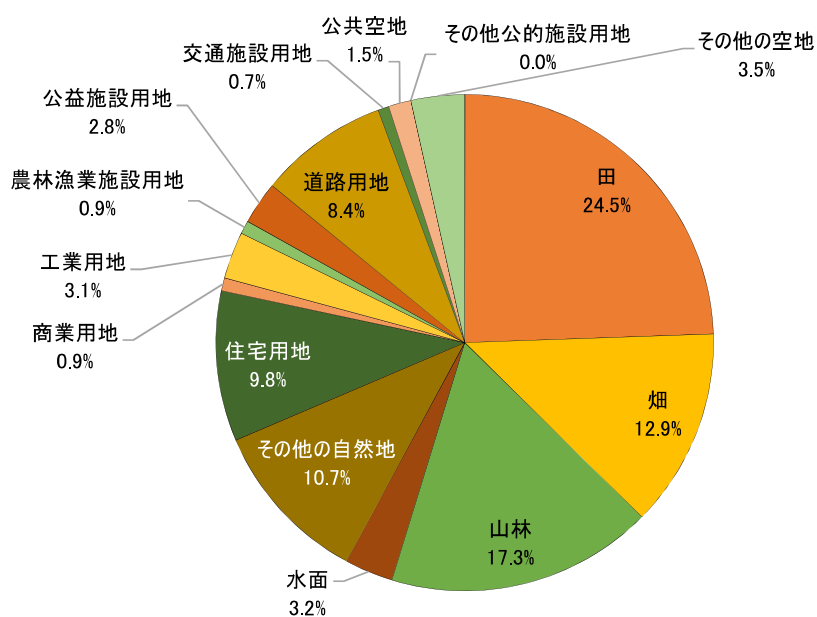
(出典：2019年度(令和元年度)都市計画基礎調査結果)

図 3-12 土地利用状況

表 3-4 土地利用状況（2019年度(令和元年度)）

区分			面積(ha)	割合(%)
自然的土地利用	農地	田	836.3	24.5
		畑	442.3	12.9
		小計	1,278.6	37.4
	山林		593.2	17.3
	水面		107.7	3.2
	その他の自然地		366.0	10.7
	原野・牧野、荒地		338.4	9.9
	小計		2,345.5	68.6
都市的土地利用	宅地	住宅用地	334.8	9.8
		商業用地	29.1	0.9
		工業用地	104.6	3.1
		小計	468.5	13.7
	農林漁業施設用地		29.5	0.9
	公益施設用地		94.8	2.8
	道路用地		288.7	8.4
	交通施設用地		23.9	0.7
	公共空地		50.9	1.5
	その他公的施設用地		0.0	0.0
	その他の空地		118.4	3.5
	小計		1,074.5	31.4
	合計		3,420.0	100.0
可住地		2,692.8	78.7	
非可住地		727.2	21.3	

(出典：2019年度(令和元年度)都市計画基礎調査結果)



(出典：2019年度(令和元年度)都市計画基礎調査結果)

図 3-13 土地利用状況

(4) 交通体系

1) 道路

本町の幹線道路は、町のほぼ中央部を国道303号、町南部に県道岐阜関ヶ原線が東西に通り、いずれも交通量1万台以上となっています。県道岐阜関ヶ原線は、整備が進められている東海環状自動車道大野神戸インターチェンジの接続道路として位置づけられています。

そのほか県道が東西、南北方向に通り、隣接する都市を結んでいます。

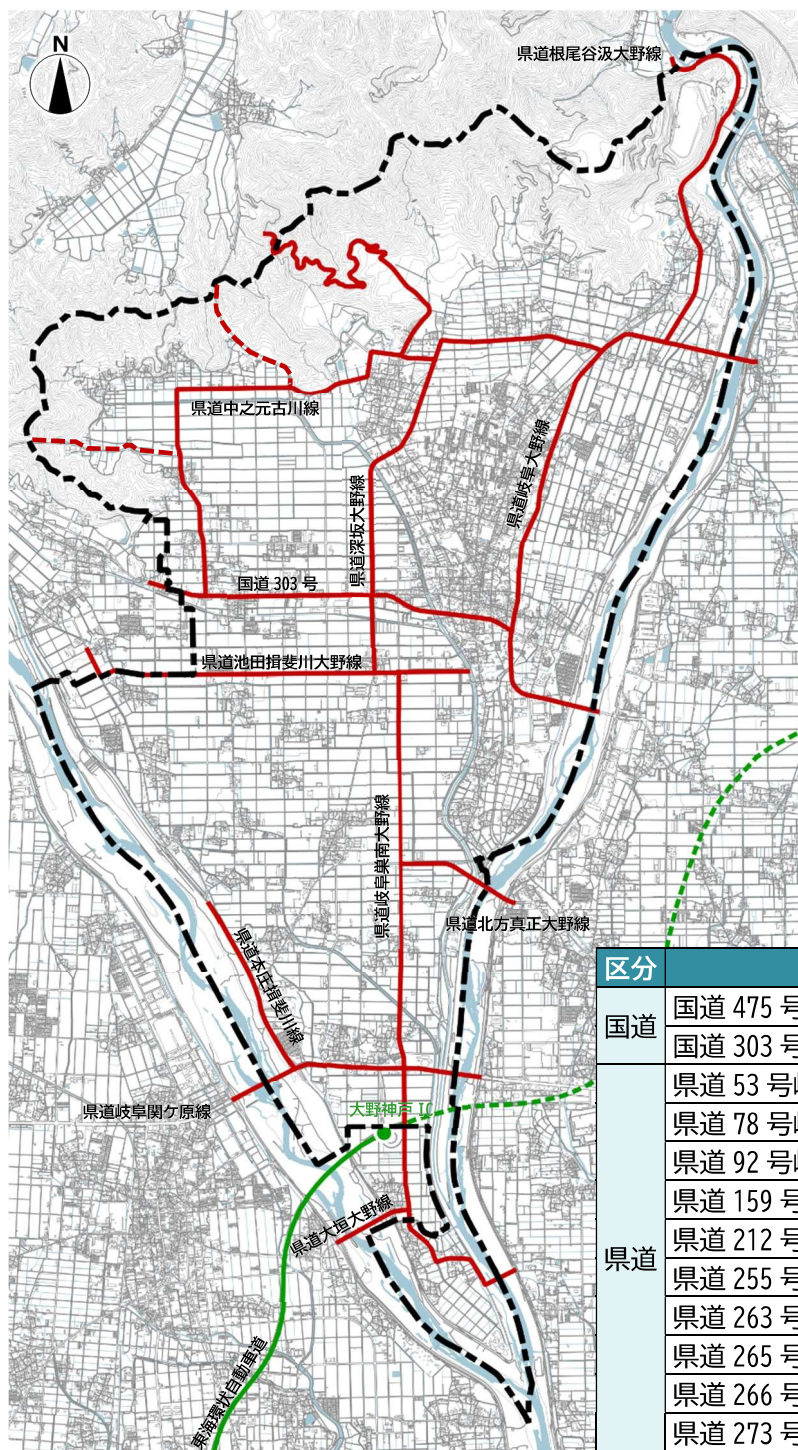


表 3-5 主要道路

区分	道路名	起点	終点
国道	国道 475 号東海環状自動車道	豊田市	四日市市
	国道 303 号	岐阜市	福井県若狭町
県道	県道 53 号岐阜関ヶ原線	岐阜市	関ヶ原町
	県道 78 号岐阜大野線	岐阜市	大野町
	県道 92 号岐阜巣南大野線	岐阜市	大野町
	県道 159 号北方真正大野線	北方町	大野町
	県道 212 号大垣大野線	大垣市	大野町
	県道 255 号根尾谷汲大野線	本巣市	大野町
	県道 263 号本庄損斐川線	大野町	損斐川町
	県道 265 号中之元古川線	大野町	大野町
	県道 266 号深坂大野線	損斐川町	大野町
	県道 273 号池田損斐川大野線	池田町	大野町

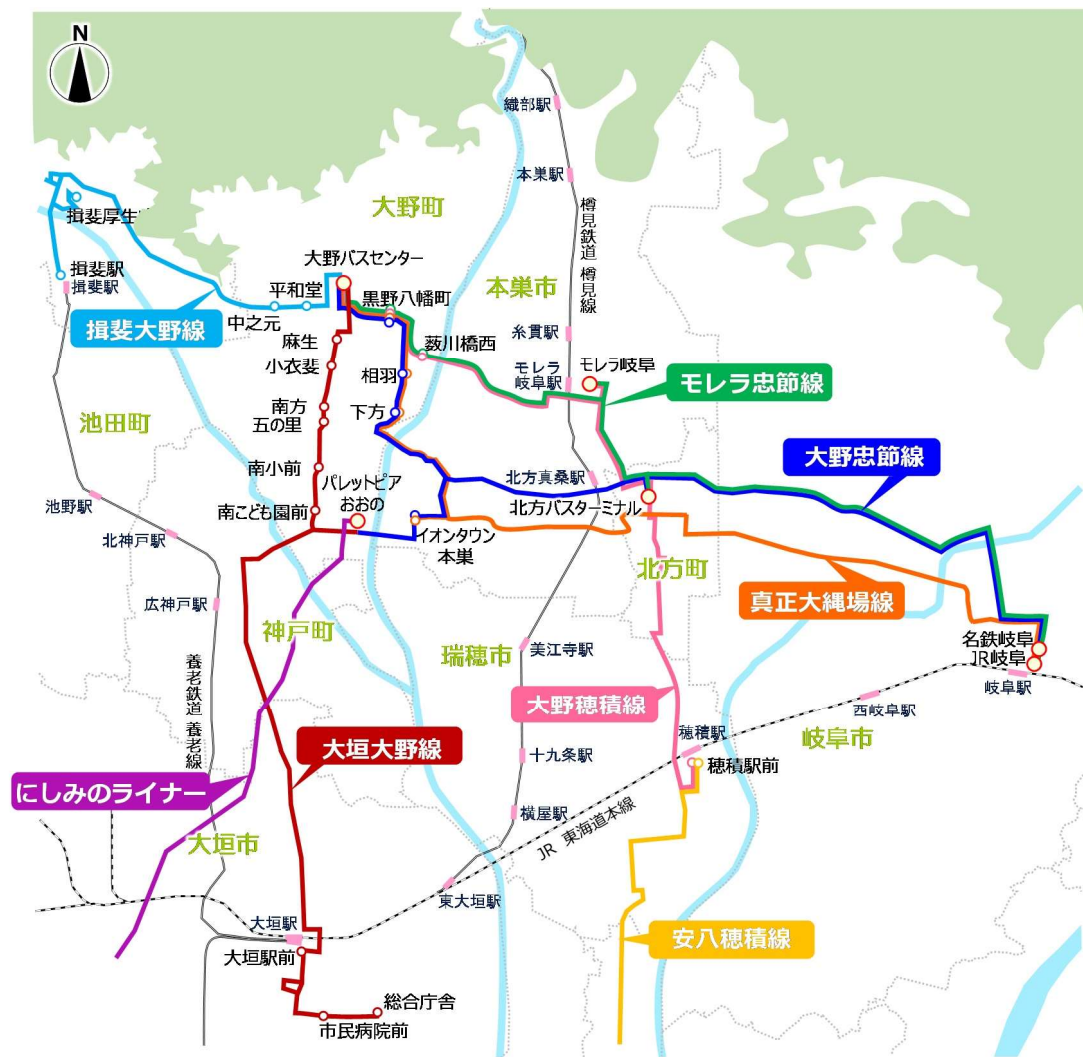
(出典：大野町都市計画マスタープラン)

図 3-14 主要道路位置図

2) 公共交通機関

本町の公共交通は、2005年(平成17年)の名鉄揖斐線の廃止により鉄道が無くなり、バス路線のみとなりました。現在、町外へ向かう移動はバス路線(民営路線バス4路線、揖斐川町コミュニティバス1路線)に支えられており、町内の移動においてはデマンドタクシー「あいのりくん」を運行しています。

また、2021年(令和3年)7月より名古屋方面へ向かう高速バス「にしみのライナー」の実証実験としての運行が開始されています。



(出典：大野町地域公共交通計画)

表 3-6 公共交通網図

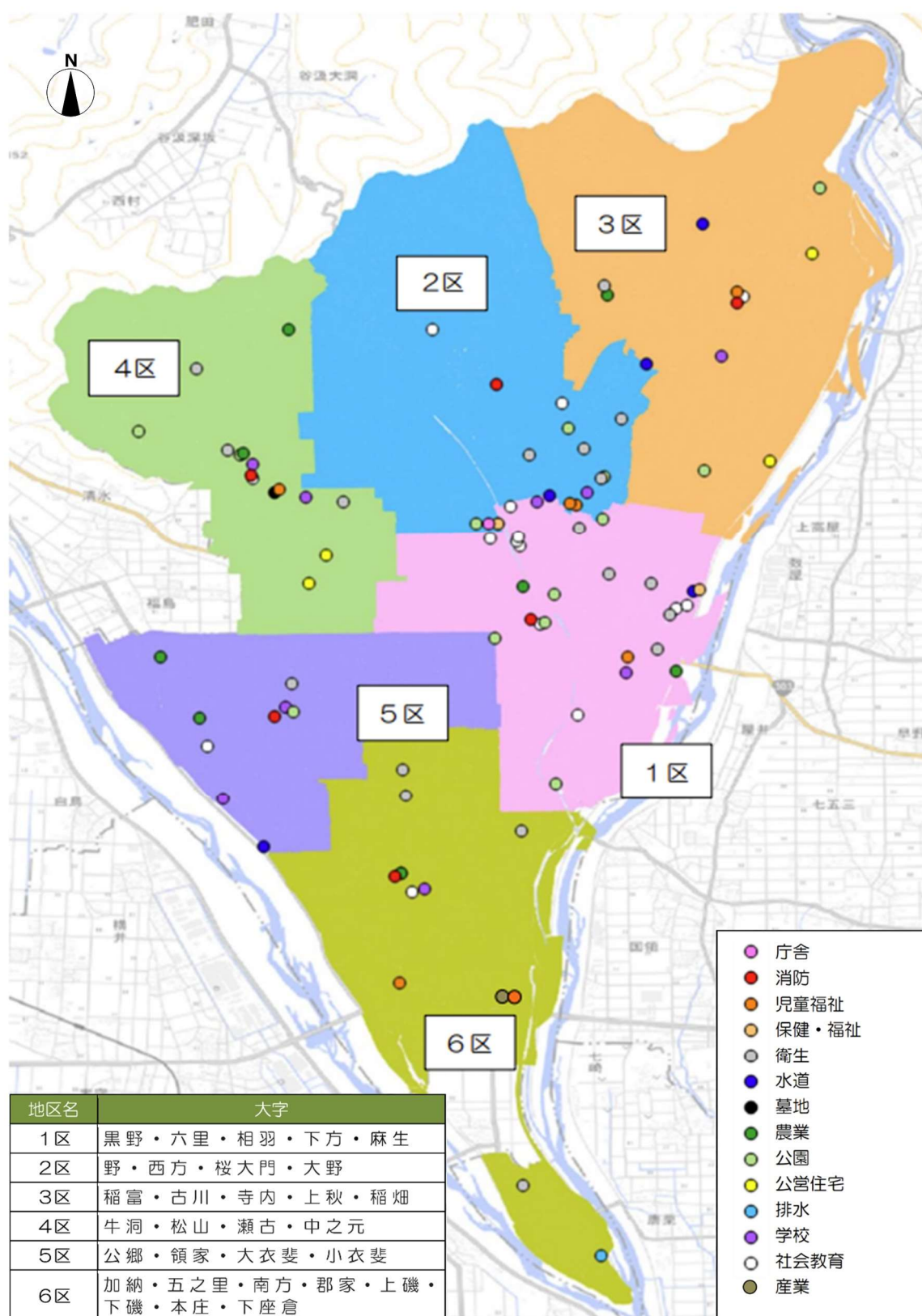
図 3-15 系統一覧

運行事業者	路線名	行先	経由	行先
岐阜バス	大野忠節線・モレラ忠節線	大野BC・パレットピアおおの～みどり公園～(モレラ岐阜)～北方BT～忠節～JR岐阜		
	真正大縄場線	大野BC～宗慶～北方BT～大縄場大橋西～JR岐阜		
	大野穂積線	大野BC～モレラ岐阜～本巣消防署前～北方BT～高屋～馬場東～穂積市役所前～穂積駅前		
名阪近鉄バス	大垣大野線	大野BC～パレットピアおおの～大垣駅北口～東高口～市民病院前～総合庁舎		
	にしみのライナー	パレットピアおおの～名神大垣～安八～名古屋駅(新幹線口)		
揖斐川町ふれあいバス	揖斐大野線	大野BC～平和堂前～本揖斐～揖斐厚生病院～揖斐駅		
樽見鉄道		樽見～本巣～モレラ岐阜～北方真桑～東大垣～大垣		
養老鉄道		揖斐～広神戸～大垣		
大野デマンドタクシー「あいのりくん」		指定停留所～指定停留所		

(出典：大野町公共交通マップ)

(5) 都市基盤施設の状況

町内の都市基盤施設の配置状況を以下に示します。



(出典：大野町公共施設等総合管理計画)

図 3-16 都市基盤施設の配置図

(6) 文化財の状況

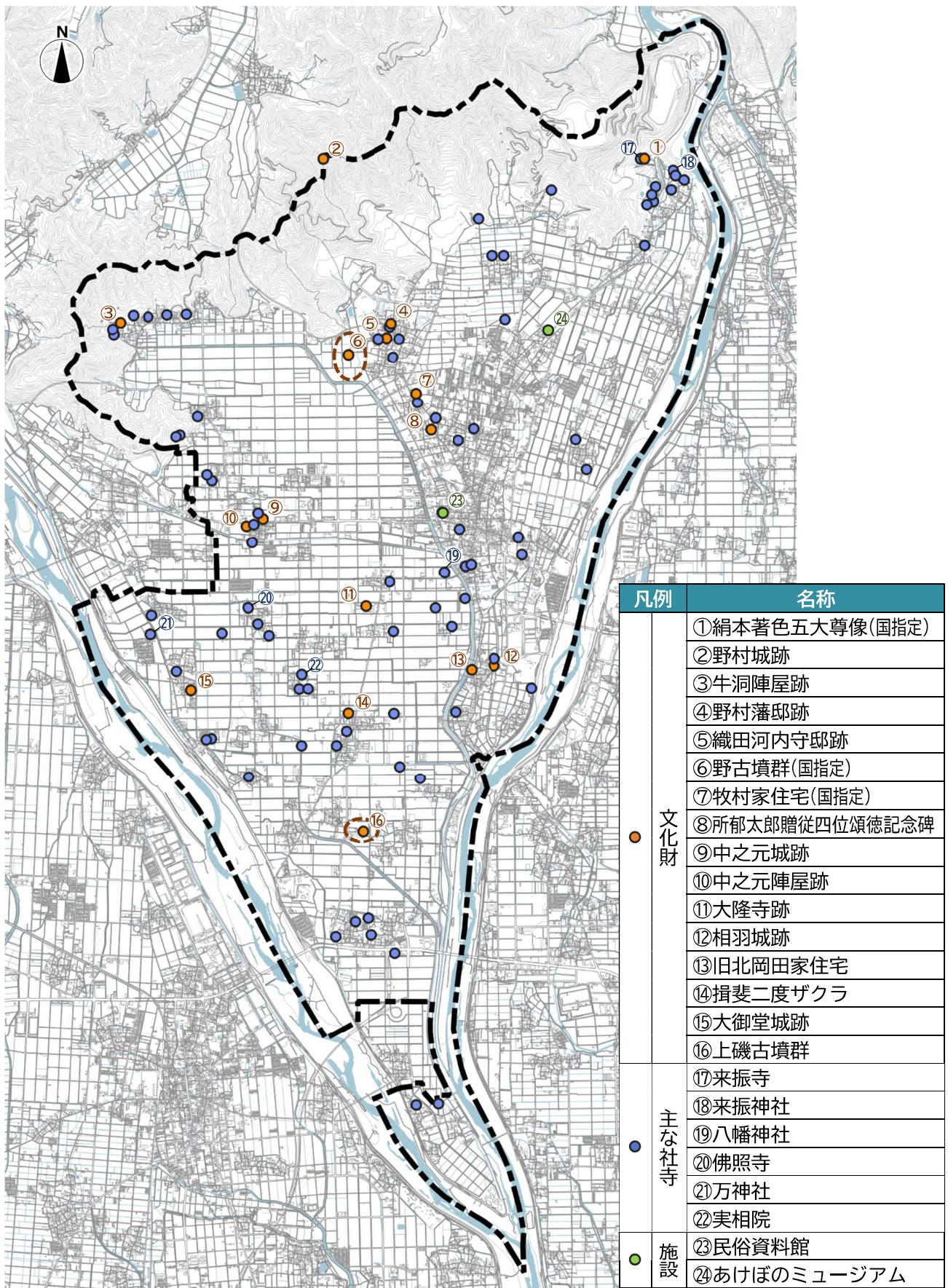
本町には、「国宝 絹本著色五大尊像」をはじめ国指定文化財4件、国登録有形文化財7件、岐阜県指定文化財6件、大野町指定文化財147件、大野町登録文化財1件と数多くの文化財があります。
(2022年(令和4年)12月1日現在)

今に残る多くの文化財は、長年にわたり先人たちによって保護され、守りつづけられてきた証であり、町民共有の貴重な財産となっています。

表 3-7 文化財の登録・指定状況

区分	種類	指定数	名称	時代
国指定文化財	国宝（絵画）	1	絹本著色五大尊像	平安
	重要文化財（建造物）	1	牧村家住宅	江戸
	史跡	1	野古墳群	古墳
	天然記念物	1	揖斐二度ザクラ	
	小計	4		
国登録有形文化財	登録有形文化財（建造物）	6	旧北岡田家住宅ほか5棟	大正
	登録有形文化財（建造物）	1	旧岡田酒店店舗兼主屋	大正
	小計	7		
岐阜県指定文化財	重要文化財（絵画）	1	弘法大師御影	室町
	重要文化財（絵画）	1	如意輪観音像	鎌倉
	重要文化財（絵画）	1	蓮台阿字	鎌倉
	重要文化財（考古資料）	1	上磯古墳出土鏡	古墳
	史跡	1	亀山古墳	古墳
	史跡	1	北山古墳	古墳
	小計	6		
大野町指定文化財	重要文化財（建造物）	12		
	重要文化財（絵画）	13		
	重要文化財（彫刻）	15		
	重要文化財（工芸品）	13		
	重要文化財（書籍）	14		
	重要文化財（典籍・古文書）	5		
	重要文化財（考古資料）	7		
	有形民俗文化財	8		
	無形民俗文化財	6		
	史跡・名勝	28		
	天然記念物	26		
	小計	147		
大野町登録文化財	登録記念物	1		
合計		165		

(出典：生涯学習課資料)



(出典：生涯学習課資料)

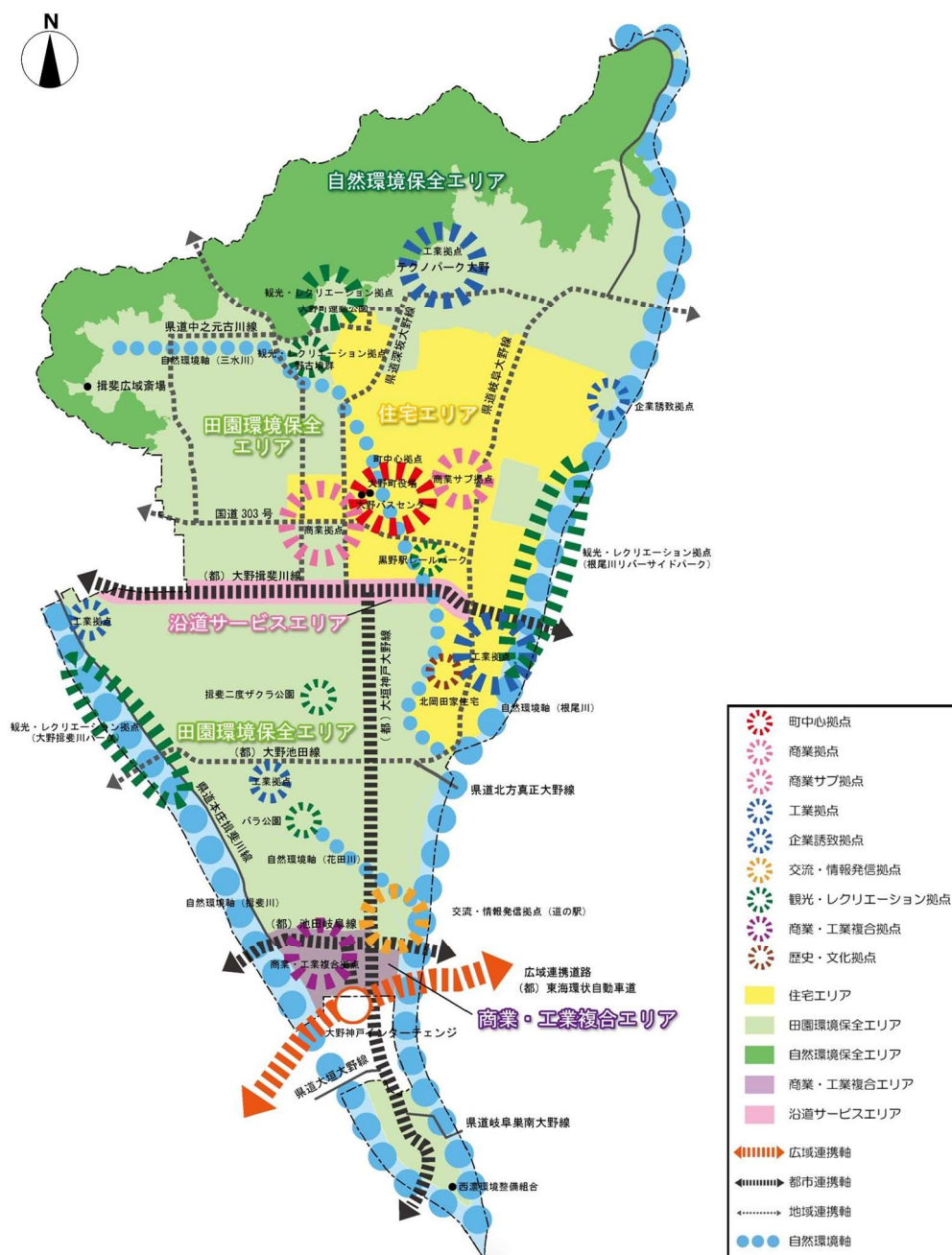
図 3-17 文化財の分布状況

(7) 都市構造

大野町都市計画プランでは、土地利用の現況や将来の土地利用構想を踏まえ、将来都市構造を以下のとおり4軸と5エリア9拠点で設定しています。

表 3-8 将来都市構造

軸（4軸）	広域連携軸、都市連携軸、地域連携軸、自然環境軸
エリア（5エリア）	住宅エリア、田園環境保全エリア、自然環境保全エリア、商業・工業複合エリア、遠藤サービスエリア
拠点（9拠点）	町中心拠点、商業拠点、商業サブ拠点、工業拠点、企業誘致拠点、交流・情報発信拠点、観光・レクリエーション拠点、商業・工業複合拠点、歴史・文化拠点



（出典：大野町都市計画マスタープラン）

図 3-18 将来都市構造図

3.3. 町民の環境に対する意識

大野町第六次総合計画の改訂にあたり2019年(令和元年)に実施した町民アンケートの結果を以下に示します。

(1) アンケートの概要

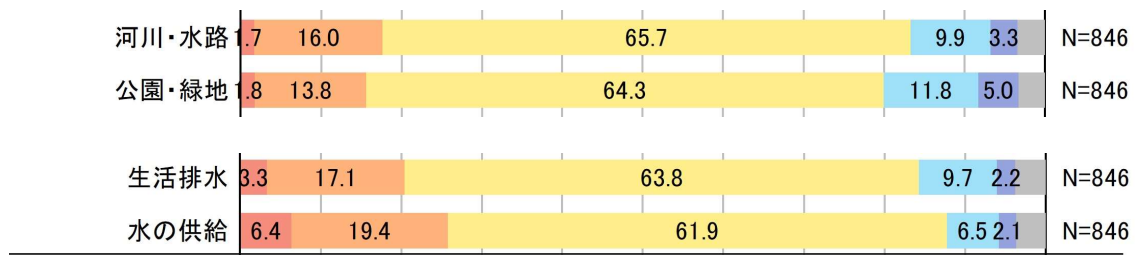
■調査方法 ・ 郵送配布、郵送回収 ■調査期間 ・ 発送：8月9日(金) ・ 締切：8月31日(土)	■調査対象者 ・ 大野町に在住の18歳以上から2,000人を無作為抽出 ■回収結果 ・ 回収数：846票（回収率：42%）
--	--

(2) アンケート結果

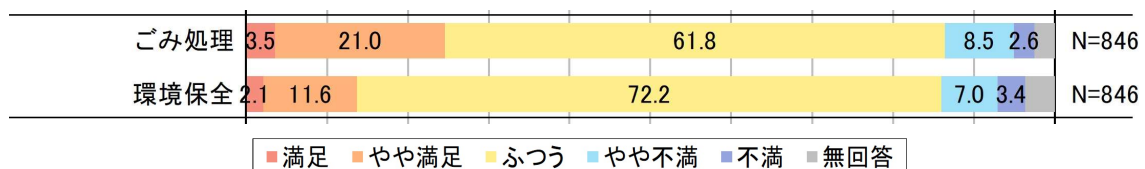
1) まちづくりに対する評価や期待

■これまで町が取り組んできた事業について、現在の評価（満足度）と今後への期待（重要度）

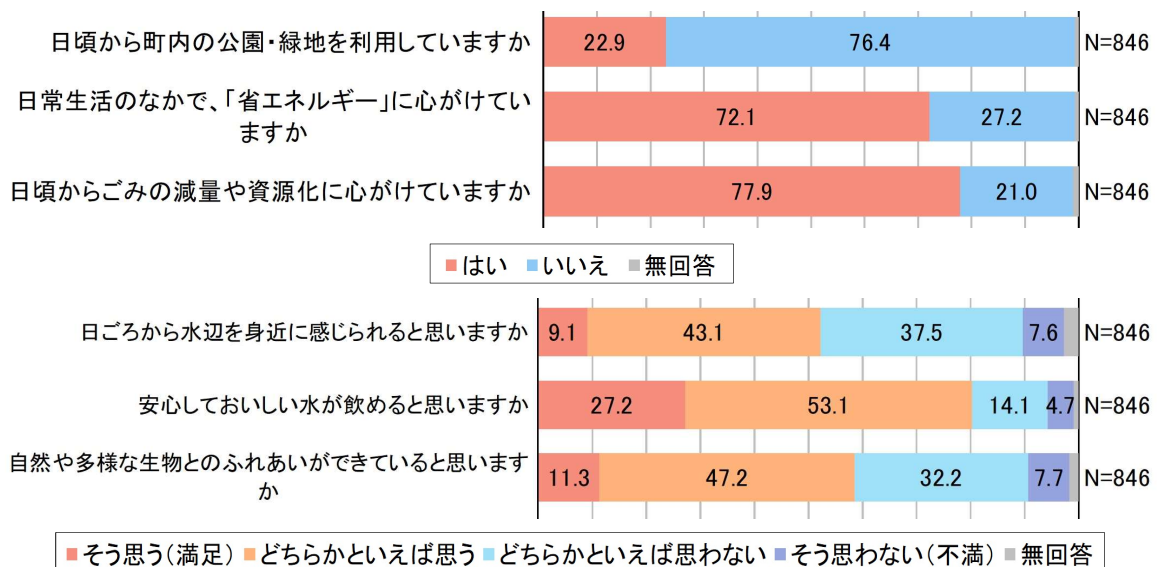
○都市基盤の整備状況について



○生活環境について



2) 暮らしの実感などについて



(出典：第六次総合計画改定に係る町民アンケート調査結果報告書)